


中間チェック・点検結果

総括

平成30年度は、大きく2つのテーマを掲げ、部局運営を行いました。
 「I R立地に向けた事業化検討」では、I R整備法や国の動向、I R推進会議での議論などを踏まえ、2019年2月に大阪I R基本構想(案)を取りまとめるとともに、アドバイザーも活用しつつ、事業性の検討・分析や開発条件、事業条件など具体的な事業設計を行い、事業者公募に向けた準備を実施するなど、I R立地に向けた活動を推進することができました。

「I R立地に伴う懸念事項の最小化とI R誘致に向けた理解促進」では、府内高校3年生向け依存症予防リーフレットの作成・配布や依存症予防等に関する高校生向け出前授業の実施など、高校生を対象とした予防教育に取り組むほか、「ギャンブル等依存症対策研究会」での調査研究を踏まえ、独自の対策を大阪I R基本構想(案)に盛り込むとともに、治安・地域風俗環境対策についての検討を進めました。また、I Rへの理解を促進するため、対象別にセミナー等を開催するとともに、動画やリーフレットなどの広報ツールを活用した情報発信に取り組みました。

今後も、国の動向を注視しながら、大阪・夢洲へのI R立地に向けて、引き続き全力で取り組みます。

テーマ		中間チェック（10月末時点）	点検結果・今後について	自己評価
テーマ 1	I R立地に向けた事業化検討	当初の予定どおり進んでいます。	当初の目標を、ほぼ達成することができました。 事業コンセプトの募集（RFC）や国の基本方針等を踏まえ、引き続きI R事業化の推進に努めます。	
テーマ 2	I R立地に伴う懸念事項の最小化とI R誘致に向けた理解促進	当初の予定どおり進んでいます。	当初の目標を、ほぼ達成することができました。 引き続き、ギャンブル等依存症対策や治安・地域風俗環境対策など、I R立地に伴う懸念事項の最小化及びI R誘致に向けた理解の促進に努めます。	